

次期 食品安全推進計画 戦略的プラン策定の考え方について(案)

～ 食に対する都民の不安を解消し、信頼を確保するために～

現計画策定以降に生じた新たな課題の整理

事故米の不正流通、表示偽装の多発

食品事業者のコンプライアンスの向上

ノロウイルスやカンピロバクターによる食中毒の増加

食品事業者の自主的衛生管理の更なる推進

輸入冷凍餃子等による健康被害の発生

健康危機発生時の迅速な対応

海外における想定し得ない事例の発生

海外情報・学術情報の幅広い収集

様々な事件発生による都民の不安の増大

食品安全に関する正しい情報提供の充実

食物アレルギーの増加

食物アレルギー対策の推進

施策の方向性と新たな戦略的プラン

施策の方向性1

食品事業者のコンプライアンスを高め、自主管理を向上するための施策の充実

戦略的プラン1 都内農産物の安全確保の推進（東京都GAPの推進）

戦略的プラン2 生産情報提供食品事業者登録制度の促進

戦略的プラン3 食品事業者が取り組む自主的な衛生管理の推進

施策の方向性2

健康被害の未然防止・拡大防止に力点を置いた施策の充実

戦略的プラン4 緊急時における危機管理体制の整備

戦略的プラン5 食品安全に関する情報収集と評価

戦略的プラン6 「健康食品」による健康被害を防止する

戦略的プラン7 輸入食品の安全を確保する

施策の方向性3

食の信頼確保に向けた都民への情報提供の充実

戦略的プラン8 食物アレルギーに関する理解を深める

戦略的プラン9 食品表示に関する知識を広め、適正表示を推進する

戦略的プラン10 食の安全・安心のためのリスクコミュニケーションの充実